

# くしまっ子



串間中学校剣道部



左から清水颯空さん、豊饒康之亮さん、島田琉生さん、江藤孜紀さん

縁を切らずに戦い抜く——。2月17、18日に熊本県菊池市で行われる「第22回白龍旗争奪中学生選抜剣道大会（九州中学校選抜新人剣道大会）」の団体戦に、2年連続で串間中学校剣道部が出場します。

同部には2年生男子4人が所属し週4回、同学校武道場や市中央公民館で稽古に励んでいます。中学校剣道の団体戦は先鋒から大将までの5人制ですが、現在の部員は4人と1枠は不戦敗となり不利な中、昨年11月に宮崎市で行われた「第47回宮崎県中学校秋季大会」の団体戦で5位入賞を果たし、同選抜剣道大会出場の内定を得ました。

主将の江藤孜紀さんは「同級生同士で仲が良く、メリハリをつけ厳しい練習をこなし、チーム一丸となって試合に臨んでいる」と話します。

顧問の尾崎城夫先生は「まじめで前向き。少ない人数でも数々の遠征試合などを重ねていて、連戦をこなせる体力とたくましさがこの子たちにはある。縁を切らない、最後まで攻めの気持ちを切らさない強い心を持つことを常に教えていて“攻めの剣道”がこの子たちの持ち味」とチームの特徴を話します。また、「遠征試合は九州各地に行くので、保護者の皆さんのサポートが必要不可欠。それが子どもたちの成長を支えている」と感謝の気持ちを述べます。

チーム目標として「勇往まい進～恐れることなく一丸となって勝利をつかむ～」を掲げ、大会後の振り返りや次大会に向けての改善点・目標を、チーム・各個人で学校の武道場へ書き出し、常に確認できるようにして練習や遠征試合を充実させて大会に臨んでいます。

「どこよりもきつい練習をしてきたと自信がある。“積極的な攻め”がチームのウリなので、九州大会では一人一人がポジションを意識して、縁を切らずに最後まで諦めずに攻め、ベスト8を最低目標に優勝を目指す。また、来年度は新入部員を迎え、5人で団体戦に挑み、夏の中体連県大会で優勝して全国大会に出場したい」と、江藤さんは力を込めて話します。

尾崎先生は「強豪校との練習試合を重ねて手応えを感じているはず。もっともっと詰めて前向きな攻めの気持ちで戦ってほしい。『君たちならできる!』とエールを送りました。

“縁”を切らさず、これからも剣道部の“勇往まい進”は続きます。

【取材日：1月22日】

道場には気合いを入れる声と竹刀を激しく打ち合う音が響き渡ります▶



引退した3年生（後方中央3人）、顧問の尾崎城夫先生（後方左）、副顧問の田村恒晟先生（後方右）も含めた記念撮影



今月のテーマ展示  
ベストリーダー

## 「魔女と過ごした七日間」

東野圭吾／著

今年度、串間市立図書館で一番読まれた小説です。館内でランキングにてご紹介します。

AIによる監視システムが強化された日本。指名手配犯捜しのスペシャリストだった元刑事が殺された。不思議な女性・円華に導かれ、父を亡くした少年の冒険が始まる——。「ラプラスの魔女」シリーズ。



「ココロの花」  
こんな部活あります  
華道部&サッカー部  
八東澄子／著

入学式。壇上に飾られたカサブランカの蕾がこすれるような音を立てて突然開いた。その瞬間を確かに目撃した、華道部の風花とサッカー部の壮太。これって運命的？部活も性格も正反対に見える2人だったが…。

## イベント情報

### 「春のおはなし会」

絵本の読み聞かせや手遊びなど、楽しい時間を過ごしましょう。

●日時= 3月23日(土) 午後2時～午後3時



「シャーリー・ホームズとジョー・ワトソンの醜聞」  
高殿円／著

ジョーがベイカー街221bに帰ると、同居人の半電腦探偵シャーリーが珍しく慌てている。なんとジョーは9カ月前に結婚して221bを出ていたというのだ。だが、ジョーには結婚の記憶がなく…。女性化現代版ホームズ第3弾。



- 串間市立図書館  
☎ 72-1177
- 開館=午前10時～午後6時
- 休館日=毎週月曜日
- HP = <https://www.city.kushima.lg.jp/library/index.html>

## 新刊情報

- 1947(長浦京／著)  
キスに煙(織守きょうや／著)
- きらん風月(永井紗那子／著)
- 彷徨う者たち(中山七理／著)
- 東京都同情塔(九段 理江／著)
- 成瀬は信じた道をいく(宮島 未奈／著)
- 秘密の花園(朝井 まかて／著)
- ブラック・ショーマンと覚醒する女たち(東野圭吾／著)

## 市長コラム

### 春の訪れ

今年例年になく自宅庭の紅梅が早く咲き、今は菜の花が満開となり山桜も咲き始め、いち早く春の訪れを感じています。この紅梅は母の親戚からいただいた90年の年輪を重ねた紅梅で、毎年心を和ませてくれます。梅と桜は日本文化の代表的なものであり、身近で親しみのあるものです。

花が咲くと春を感じるとともに、新年度への幕開けを感じ心が弾みます。また、ピカピカのランドセルを背負い、黄色い帽子をかぶった小学1年生が高学年にリードされて通学する姿も心が和み、孫の入学式を思い出し、夢に向かって飛躍してほしいと期待したものです。

春は卒業、入学、就職など、出会いと別れの季節です。毎年、新年度を迎えられることのうれ



しさと、人事異動や退職する方たちとの別れの寂しさが交差し、長年努力して守ってきた組織でも、定年と同時に後輩にバトンタッチをして未来を託します。先日、串間市選挙管理委員会委員長を2年間務められた私の大先輩である中澤征史さんもバトンを渡されました。20年の歳月の中にはさまざまな経験と知識が生まれたことと思いません。

これまで尽力いただいた先輩方が残してくださった貴重な知識や経験などの財産を、今度は私たちが大切に活用し、厳しい社会状況の中でも明るい春の日差しのような串間になるように努めてまいります。